

令和 5 年度 総合的な探究の時間 年間指導計画

広島市立広島商業高等学校 全日制課程

実施学年 (1) 年

<p>学校において定める 目 標</p>	<p>探究の見方・考え方を働かせ、広島市商ピースデパートによるビジネス活動の中で、地域社会と連携しながら恒久平和と社会貢献の実現に関する課題の発見と解決ができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。 (1) ビジネスに関する探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、取引業者等の他者との関わりや協働によって成り立つことを理解しようとする。 (2) ビジネス活動や自己との関わりから問いを見だし、その解決に向けた仮説や調査した情報を基に分析する力を身に付けるとともに、論理的にまとめ、表現する力を身に付ける。 (3) ビジネス活動に関する探究活動について主体的・協働的に取り組むとともに、持続可能な社会を実現するために行動し、恒久平和、社会貢献を実現しようとする態度を育てる。</p>
<p>内 容</p>	<p>探 究 課 題 商業に関する知識・技能を学ぶ 取引業者と連携すること</p> <p>育成を目指す 具 体 的 な 資 質 ・ 能 力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島市商ピースデパートを通して商業に関する知識・技能を学び、実践に結びつける力を育てる ・ 物事に進んで取り組む力〈主体性〉 ・ 現状を分析し目的や課題を明らかにする力〈課題発見力〉 ・ 相手の意見を丁寧に聴く力〈傾聴力〉 ・ 意見の違いや立場の違いを理解する力〈柔軟性〉
<p>付与する単位数</p>	<p>1 単位</p>
<p>授業時数の配当方法</p>	<p>1 週間に 1 時間を基本とする。また、広島市商ピースデパート開催の前後に集中的配当する。</p>
<p>学 習 活 動</p>	<p>①会社組織のあり方と物事の決し方の学習 ②全体の役割分担の中で各自の役割の学習 ③働き方の違いの学習と自己の適性の把握 ④デパートで求められている人物像と今の私の分析 ⑤期限に間に合わせる段取り力 ⑥分業体制における横の連携の必要性和協調性 ⑦顧客に対する訴求力のある販売計画と店舗設計 ⑧商業活動の実践に必要な平和な社会の大切さ ⑨実践したことを文章にまとめる振り返り活動 これらを、グループごとや 2 人一組など協働的な学習形態で実施したり、異年齢集団による学習形態で実施したりする。</p>
<p>教 材 の 使 用 等</p>	<p>自主作成「広島市商ピースデパート 学習の手引き」 自主作成「進路の手引き」他、自主作成プリント各種</p>
<p>指導方法・指導体制</p>	<p>各クラスは、担任と副担任の複数指導体制 その構成は、普通科教員と商業科教員を 1 名ずつ配置 スタッフ活動に従事する生徒には、担任、副担任以外の全教職員による相互支援体制</p>

評価規準・評価方法		生徒の良い点を探り記述的・記録的評価とし、数値的な評価はしない。評価方法としては自己評価、相互評価、担当教師評価、教育活動に協力していただいた方々による評価など1年間を通して総合的に評価する。				
単元	月	探究の過程	学習内容・学習活動	時数	学習形態（場所）	各教科・特別活動等との関連・指導上の留意点等
	4月	設定	①広島市商ピースデパートの趣旨・目的・コンセプトを学習し、開催意義について学び、役割分担、各部署での目標設定をする。 ②広島市商ピースデパートの実践を通して、自分の進路実現に向けての情報収集と進路計画の立案をする。	2	グループ学習 各学年の教室 講堂	組織と個人の役割についてビジネスの観点から指導する。 学んでいることが生徒の進路に結びつけるように仕向ける。
	5月	収集	①株主総会の意義と役割について学習し、株主として参加する。 ②広島市商ピースデパートの学習を通して分業体制について学び、実際の企業での職種との比較検討の学習をする。	3	グループ学習 各学年の教室	社員としての自覚を持ち、生徒自身の行動には責任が伴うことを押さえる。 広島市商ピースデパートを通して身につけることができる能力について自ら考えさせる指導を行う。
	6月	収集 整理	①担当となった仕入企業と取扱商品について研究し、販売計画、仕入計画の学習をする。 ②第1回平和探求学習をする。（市商と原爆について）	2	グループ学習 各学年の教室	様々なカテゴリの商品を学び、デパートの全体像を掴ませる。 顧客のニーズを分析し、それに合った品揃えを考えていく。
	7月	設定 収集	①企業訪問に関する、電話応対、挨拶の仕方、協議の進め方やその内容等を学習する。 ②平和探求学習によって、恒久平和の精神を養う。	1	グループ学習 各学年の教室	広島市商ピースデパートは、ビジネス活動と平和貢献に深いつながりを持たせることを目的としている。全生徒が平和貢献の意識を持たせる指導を行う。
	8月	収集 整理	①企業訪問の報告会を行う。 ②店舗設営に向けての準備物や業務の確認、仕入商品の選定をする。	1	グループ学習 仕入先企業	仕入先企業に実際に訪問した生徒から、顧客のニーズに合った商品の選定やサービス、企業について発表させる。質疑応答も行う。
	9月	整理	①第1回部門別会議で、部門ごとの役割を確認する。 ②第2回平和探求学習をする。（広島と原爆について）	2	グループ学習 各学年の教室	部門別会議の内容を正確にクラス全体に説明させ、共有化を図る。 平和の意義を理解し、この活動が平和貢献へとつながっている

						ことを再確認する。
10月	収集整理	①平和関連映画を視聴し、コンセプトの再確認をする。 ②第2回部門別会議で、ローテーションを確認する。 ③食品衛生管理について学習する。	2	グループ学習 各学年の教室	映画の内容をお客さまに説明できるように指導する。 各部門からの提出物を整理し、提出期限を守らせる。 食品の衛生管理を徹底し、安全・安心な商品の提供が当然の義務であることを認識させる。	
11月	収集整理 分析	①店舗設計の学習と実践をする。また、店舗装飾や広告の学習をする。 ②仕入商品を確定する。(仕入単価、数量、販売単価等)	5	グループ学習 各学年の教室	市場価格や利益確保のバランスを考えた価格設定を指導する。 (人件費やテナント料を費用計上していない点を気づかせる) 商品の情報を顧客に提供することの必要性を認識させ、商品知識の学習を徹底するように指導する。 魅力ある店舗づくりについて、小売業の現場を調査し、探究させる指導を行う。	
12月	分析 まとめ	①デパートの準備、販売や他の業務において、これまでの学びを実践する。 ②取り組んだ経営活動の成果と課題について振り返る。	10	グループ学習 各学年の教室 講堂 体育館	商業学習の集大成の場であり、生徒自身がこれまで学んできた成果を発表する場であること認識させ、真剣に取り組むことを徹底させる指導を行う。	
1月	分析 まとめ	①財務諸表の作成とその分析について学習をする。 ②確定申告と納税の学習をする。	3	グループ学習 各学年の教室 講堂	計画、実践、検証、改善というPDCAサイクルの学習に取り組みさせる指導を行う。 企業が社会に貢献する一つの実践として納税がある。納税を収入源として行政のサービスが提供されていることを認識させる指導を行う。	
2月	まとめ	①株主総会の開催をする。 ②今回の広島市商ピースデパートを経験して、気づく自らの適性についての分析学習に取り組む。	3	グループ学習 各学年の教室	改善点や課題などを文章で表現する能力を身につけさせる指導を行う。	
3月	課題 まとめ	2年次での広島市商ピースデパートに向けての目標と課題の設定をする。	1	グループ学習 各学年の教室	次年度に向けて改善すべき点を明確にさせ、その解決に向けて具体的な方法を探る取り組みについて指導する。	
備考						

